

市町村等における3R運動に関する取組計画（令和4年度）

市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
久慈市	海ごみゼロ ウィーク2022の 実施	久慈市の海岸にて岩手県、関係団体、事業者、住民と協働でごみ拾いを実施する。	5月に久慈市長根浜において、全国で実施される海ごみゼロウィーク2022の県内でのキックオフイベントとして、海岸での清掃活動を実施した。スタッフを含めた参加者数は140名、回収したごみは127.7kgであった（主催：岩手県、海と日本プロジェクトin岩手実行委員会 共済：久慈市）。
久慈市	環境ブースの設 置による周知・ 啓発	久慈市産業まつりにて環境に関するブースを設置し、啓発物品の配布や参加型分別体験等を通して3Rの促進を図る。	久慈市産業まつりにて環境に関するブースを設置し、ごみの排出状況のアンケートや啓発物品の配布、参加型分別体験を実施した。
久慈市	古着、小型家電 の資源回収の拡 大	広報等により古着及び小型家電を資源物として回収するための周知・啓発を実施する。	市広報誌により小型家電の適正分別や拠点回収について周知した。
久慈市	生ごみ減量対策	コンポスター購入費用の一部補助により、生ごみ排出の抑制を図る。	コンポスター購入の一部補助により、生ごみ排出の抑制を図った。
久慈市	エコクッキング の実施	管理栄養士や市内の団体と協力し、食材のより良い調理法や地産地消などを通じてごみの排出抑制等を図る。	久慈市食生活改善推進協議会の研修会の中で食品ロスやごみの削減についての講話を実施した。
二戸市	3R啓発	市ホームページ及び広報誌「広報にのへ」、地域コミュニティFMにおいて、3Rに関する内容を掲載し、住民へ周知を図る。	市民のごみ減量化に対する意識向上につながった。
二戸市	3R実践	資源回収運動及び生ごみ処理機購入に対し、補助金を交付するほか、地球温暖化対策地域協議会「にのへエコネット」を通じ、廃食用油の回収を行う。 また、二戸環境衛生組合を通じて、古着の回収を行う他、ごみ減量化のための物品配布、生ごみ処理機の斡旋を実施を行う。	資源回収運動及び生ごみ処理機購入の支援や、廃食用油・古着回収を行い、3R運動を推進。
軽米町	生ごみ処理事業	家庭用生ゴミ処理機6台及びコンポスト3台の購入助成を行った	家庭用生ゴミ処理機6台及びコンポスト3台の購入助成を行った
軽米町	小型家電リサイ クル回収事業	小型家電を回収し、再資源化を推進した。	小型家電を回収し、再資源化を推進した。
軽米町	古着の回収	町内の公共施設2か所に古着回収ボックスを設置し、古着の再生利用を推進した。	町内の公共施設2か所に古着回収ボックスを設置し、古着の再生利用を推進した。
軽米町	ごみの分け方・ 出し方の啓発	家庭ごみの分け方・出し方の冊子を作成して全世帯に配布し、ごみの減量化やリサイクルについて普及啓発を図った。	家庭ごみの分け方・出し方の冊子を作成して全世帯に配布し、ごみの減量化やリサイクルについて普及啓発を図った。
洋野町	古着の回収	町内の公共施設2か所に古着回収ボックスを設置し、古着の再生利用を推進する。	町内の公共施設2か所に古着回収ボックスを設置し、古着の再生利用を推進した。
洋野町	ごみの分け方・ 出し方の啓発	・家庭ごみの分け方・出し方について、各地区で説明会を開催し、ごみの減量化やリサイクルについて普及啓発を行う（随時）	・地区からの希望が無かったため、説明会は開催していないが、広報誌等を通じてごみの減量化やリサイクルについて普及啓発を行った。
洋野町	小型家電リサイ クル	町内の公共施設2か所に使用済小型家電回収ボックスを設置し、回収・リサイクルを推進する。	町内の公共施設2か所に使用済小型家電回収ボックスを設置し、回収・リサイクルを推進した。
一戸町	生ごみ発酵分解 処理事業	町中心部の生ごみ発酵分解処理	町内中心部の生ごみを発酵分解処理した。 (令和5年2月で停止)
一戸町	生ごみ処理槽活 用実証	モデル町内会にて生ごみの消滅型処理槽を活用	モデル町内会にて生ごみの消滅型処理槽を活用した。
一戸町	衣類リサイクル	-	-
一戸町	資源回収補助金	子ども会、町内会等が実施する資源回収を支援	子供会、町内会等が実施する資源回収を支援した。
一戸町	小型家電リサイ クル実証事業	ボックス・ピックアップ回収を実施	ボックス・ピックアップ回収を実施した。
一戸町	古紙回収	自動回収機「ecom」による古紙回収	自動回収機「ecom」による古紙回収を行った。

市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
普代村	リサイクル活動 団体助成金	各地区団体が、リサイクルを行っている場合（通年）活動助成金を交付する。	リサイクル活動を行った5団体へ助成を行った。
普代村	コンポスト購入 助成金	コンポストまたは生ごみ処理機を購入した住民へ補助金を交付する。	申請のあった、1名の方に対しコンポストの助成を行った。
野田村	資源集団回収推 進事業	地域住民組織等の回収実績に応じて奨励金を交付する。	地域住民組織等の回収実績に応じて、奨励金を交付した。
野田村	生ごみ処理機等 購入費助成事業	購入者に対して、助成金を交付する。	購入者に対して、助成金を交付した。
野田村	古着リサイクル 回収事業	回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する。	R4から回収ボックスの設置を再開し、リサイクルを推進した。
野田村	小型家電リサイ クル回収事業	回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する。	回収ボックスを設置し、リサイクルを推進した。
九戸村	古着の回収	再生利用を推進するため役場及び支所2か所に古着回収ボックスを設置し、古着の回収を実施する。	コロナ禍のため未実施
九戸村	生ごみ処理機等 購入費助成	-	令和4年度の申請は10名あり、53,400円の補助を実施した。
久慈広域連合	ごみ処理施設見 学の受け入れ	施設概要、現状の説明及び3R啓発（説明パネルやごみの出し方ガイドブックをもとに口頭で説明）を行う。	マスク着用や3密の回避等の感染症対策を実施した上で施設見学を受け入れ、ごみ処理の現状説明と3Rの啓発を行った。
二戸地区広域 行政事務組合	施設見学の受入 れ	施設見学の受け入れ時、ごみの適正分別及び減量化への啓発を図る。	構成市町村内の小学校13件から、児童及び引率者計248人の施設見学を受け入れ、ごみの適正分別及び減量化への啓発を図った。
二戸地区広域 行政事務組合	広報周知活動	ごみ処理施設の基幹的設備改良工事を契機とし、組合広報等により、ごみ処理施設の重要性や3R運動についての呼びかけを行う。	組合広報誌により、ごみ処理施設延命化工事の状況を周知すると共に、ごみの適正分別及び3R運動の呼びかけを行った。
盛岡市	食品ロスの削減	10月の食品ロス削減月間のほか、地域で開催する懇談会、説明会において、冷蔵庫お片付けデーの実践、計画的な購入や消費、食べ残しの削減等を呼びかけ、食品ロスの削減を図る。	10月の食品ロス削減月間や、地域で開催する懇談会、説明会において、冷蔵庫お片付けデーの実践や、計画的な購入や消費、食べ残しの削減等を呼びかけ、食品ロスの削減を図った。
盛岡市	生ごみ減量の取 組み	生ごみを排出する前の「ひとしぼり」を呼びかける。また、小学校における段ボールコンポストの取組や、市内2か所に設置している大型生ごみ処理機の利用の促進を図る。	小学校の段ボールコンポストの取組み、大型生ごみ処理機の利用の促進及び設置地区の利用状況の比較検証、利用者へのフィードバックを行った。 また、地域で開催する懇談会、説明会等で計画的な購入、食べ残しをしない等生ごみの発生抑制を訴えた。
盛岡市	広報周知活動	市の広報、SNS、資源ごみ分別アプリ、資源とごみの分け方・出し方カレンダーのほか、啓発教室（小学校等）や分別説明会（町内会等）で、ごみ減量資源再利用の周知啓発を行う。	市の広報誌や資源・ごみ分別アプリ等により、時節をとらえながらごみ減量資源再利用に関する周知啓発を実施した。 また、啓発教室や分別説明会により、ごみ減量資源再利用について周知を行った。
盛岡市	もりおかエコラ イフ推進キャン ペーン月間の実 施	7月の1か月間を集中取組み期間とし、エコライフの推進を訴える。	7月の1か月間を集中取組み期間とし、エコライフの推進を訴えた。
盛岡市	容器包装廃棄物 削減に向けた取 組み	ごみ減量資源再利用施策を推進するために、小売業者、市民団体及び市の三者で意見交換や容器包装廃棄物の減量強化月間（10月）を実施する。	ごみ減量資源再利用施策を推進するために、小売業者等、市民団体等及び市の三者で意見交換会を行った。 また、10月に容器包装廃棄物の減量強化月間を実施した。

市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
	イベントの開催	「もりおかエコライフ」及び「ごみ減量資源再利用市民のつどい」を開催し、環境に配慮したライフスタイルを市民とともに考え、実践につながるイベントを開催する。	令和4年12月1日から令和5年2月28日まで「もりおかエコライフ2022」を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場でのイベント開催は行わず、動画配信によるイベント開催とし、脱炭素社会実現を目指し作成した動画8本を、YouTubeにて配信した。 11月に「ごみ減量資源再利用市民のつどい」を開催した。令和4年度は「食品ロスの削減」をテーマとしてイベントを行った。
盛岡市	資源集団回収の促進	資源集団回収活動の周知啓発を継続し、実施団体への報奨金の交付、ストックヤード設置の補助、資源集団回収優良団体の表彰を行う。	資源集団回収活動の周知啓発を継続し、実施団体への報奨金の交付、ストックヤード設置の補助を行った。 また、11月に資源集団回収優良団体として8団体を表彰した。
八幡平市	小型家電回収事業	集積所に燃えないごみとして排出されているものから、清掃センターにおいて、小型家電をピックアップし回収を行う。また、清掃センターへ直接持ち込みされた小型家電について回収を行う。 市役所本庁舎に小型家電回収ボックスを設置し拠点回収。	清掃センターにおけるピックアップ回収及び市役所本庁舎で拠点回収を行った（回収量5.61t）。
八幡平市	古着の回収	各庁舎、清掃センターで拠点回収を行う。	各庁舎、清掃センターで古着の拠点回収を行った（回収量0.51t）。
八幡平市	資源回収事業報奨金	資源物の回収を行った団体に報奨金を交付する。	資源物の回収を行った団体に報奨金を交付した（32団体）。
八幡平市	啓発活動	広報、HP等によりごみ減量化、資源リサイクルの周知を図る。	広報、HPにごみ減量化、資源リサイクルに関する記事を掲載した。
滝沢市	滝沢市環境企画展の開催	ごみ減量・資源化等の展示を行い、意識醸成を図る。また、同日開催のイベント飲食スペースに食品ロス削減を呼びかけるポスターを設置し、周知を図る。	滝沢市環境企画展を開催し、飲食スペースではありませんでしたが、食品ロス削減を呼びかけるポスターを設置することで食品ロスについての周知を図りました。
滝沢市	小型家電の常時回収ボックスの設置	小型家電の回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する。 宅配便による小型家電回収の周知啓発を行い、リサイクルを推進する。	小型家電の回収ボックスを2か所に設置し、リサイクルを推進しました。 小型家電回収のチラシを全戸配布するなど小型家電回収について周知啓発を行いました。
滝沢市	家庭ごみ減量に関する出前講座の企画	座学をとおして家庭ごみの減量について学び、ごみ減量及び環境保全についての意識高揚を図る。	出前講座の応募が7月に1回あり、ごみ減量化及び環境保全についての意識高揚を図りました。
滝沢市	ごみ減量に関する研修会	市衛生指導員等を対象にごみ減量をテーマとした研修を実施し、地域のリーダーとして知見向上を図る。	滝沢市ごみ減量化推進委員会委員を対象に滝沢・雫石環境組合の施設見学を実施しました。
滝沢市	啓発活動	ホームページ、広報、回覧等を活用し、ごみ減量化の周知啓発を図る。	ホームページ、広報、リーフレット等を活用し、ごみ減量化の周知啓発を行いました。
滝沢市	資源回収ボックスの設置	資源回収ボックスを設置し、ごみ減量・資源化を推進する。	資源回収ボックスを設置し、古紙の回収を行い、ごみ減量化・資源化の推進を行いました。
雫石町	広報誌等による普及啓発	毎月発行される広報「しずくいし」にごみの排出状況載せるほか、ごみの減量・資源化に資する取り組みの紹介、不法投棄抑止の呼びかけ、3Rに関する周知記事を随時掲載する。	毎月発行される広報「しずくいし」にごみの排出状況載せたほか、とくに「環境月間」である6月号並びに「3R推進月間」の10月号には、ごみの減量・資源化に資する取り組みの紹介、不法投棄抑止の呼びかけ、3Rに関する周知記事を掲載した。

市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
雫石町	産業まつり時の環境展ブースによる周知	しずくいし産業まつり時に『環境展』のブースを設けて、廃棄物関連のクイズ出題や3Rの取り組みなどを紹介する。 ※今年度も10月に開催を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止もあり得る。	10月に開催されたしずくいし産業まつりにて、『環境展』新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、前年度に引き続き中止となった。
雫石町	生ごみの減量	町民が、生ごみ処理機や容器を購入した際の費用を、町が一部補助する。	生ごみ処理機や処理容器を購入した1名の町民に対して、購入費用の一部を補助した。
雫石町	環境推進会議の開催	町内の事業者や各種団体の代表者、有識者等で構成される会議を開催して、ごみの減量化・資源化に資する有効な取り組みを協議する。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、昨年度と同様に開催しなかった。
雫石町	古着・古布の拠点回収	町内の公共施設（役場・地区公民館4ヵ所・しずく×CAN）の計6ヵ所に回収BOXを設置して、古着や古布を回収する。 ※現在の状況では、回収できる情勢下ではないが、海外での受け入れが再開次第、当事業も再開する予定。	古着・古布の拠点回収は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、回収できない状況が続いている。
雫石町	集団資源回収	集団資源回収を実施した団体に対して、回収量及び回数に応じた奨励金を町が交付する。	集団資源回収を実施した団体に対して、回収量に応じた奨励金を町から交付した。（補助実績：2,753千円、回収量354.3トン）
雫石町	使用済み食用油の拠点回収	町内13ヵ所に回収BOXを設置して、使用済み食用油を回収する。	町内13ヵ所に回収BOXを設置して、使用済み食用油を1,541ℓ回収した。
雫石町	事業者に対する適正排出・排出抑制依頼文書の発送	町内の事業者に対して、ごみの分別並びに適正排出・排出抑制に係る依頼文書を発送する。	これまで2年に1度の取り組みとしてきたことから、令和3年度に実施していたので、令和4年度は実施しないこととした。
雫石町	小型家電回収	町内6箇所に回収BOXを設置し、小型家電の拠点回収を行うほか、事業者との協定により宅配便による自宅回収事業を実施する。	拠点回収により4,576.0kgの小型家電を回収した。宅配便回収により2月末現在321.8kgの小型家電を回収した。
葛巻町	小型家電回収	町内6箇所に回収BOXを設置し、小型家電の拠点回収を行うほか、事業者との協定により宅配便による自宅回収事業を実施する。	拠点回収により4,576.0kgの小型家電を回収した。宅配便回収により2月末現在321.8kgの小型家電を回収した。
葛巻町	広報による周知	広報やくずまきテレビを活用し、ごみの分別や減量化について周知する。	広報やくずまきテレビを活用し、ごみの分別や排出方法を周知した。
葛巻町	古着回収	イベント等で古着回収を実施する	コロナの影響によるイベントの縮小により実施しなかった。
葛巻町	資源回収事業	自治会、PTA等で実施する資源回収に対し補助金を交付する。	自治会、PTA等で実施した資源回収に対し、補助金を交付した。（8団体）
葛巻町	生ごみ処理機購入補助	生ごみ処理機購入費の一部を補助し、生ごみの排出抑制を図る。	生ごみ処理機の購入に補助金を交付した。（2件）
葛巻町	小型家電リサイクル回収事業	役場庁舎に回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する。	役場庁舎に回収ボックスを設置し、小型家電を回収した。（83kg）
岩手町	出前講座の実施	自治振興会等の依頼に対し出前講座を実施し、ごみの減量推進や3R運動についてPRする。	自治振興会の依頼によりごみの減量推進や3R運動について出前講座を実施した（3自治振興会）
岩手町	資源リサイクル補助金制度実施	子供会などを中心に、地域において資源回収実施の団体に補助金を交付する。	地域における資源回収の推進に寄与した。（10団体）
岩手町	広報誌等によるPR	町広報誌等により3R運動をPRする。	町広報誌に資源リサイクル活動のことについて掲載した。
岩手町	衣類回収の実施	町内の公共施設3施設に設置している古着回収ボックスで古着の再生利用を推進する。	町内3ヵ所に回収ボックスを設置し、古着の再生利用を推進した。（2,970kg）
岩手町	ごみ減量推進及び環境啓発活動	町公衆衛生連絡協議会を通じて生ごみ処理機購入補助金制度の実施、並びに環境啓発活動を実施する。	生ごみ処理機購入補助金制度の実施、並びにごみ環境啓発活動を実施した。
岩手町	小型家電回収事業	回収拠点を設け、回収・リサイクルを推進する。	町内1ヵ所に回収拠点を設け、回収・リサイクルを推進した。（1,415kg）

市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
岩手町	生ごみの減量	生ごみ減量化推進のため業務用生ごみ処理機2機を導入する。	未実施
紫波町	ごみ減量・分別説明会	ごみ減量・分別説明会開催時に3R推進について説明	5回、61人が参加
紫波町	生ごみの減量	段ボールコンポストの普及促進	1基
紫波町	集団資源回収	集団資源回収団体に対し補助金を交付	96団体に交付
紫波町	エコショップしわの認定	町独自のエコ・ショップしわ認定制度	35店舗認定
紫波町	天ぶら油回収の実施	使用済み天ぶら油をBDF用に回収	7団体で取組み、1,440リットル回収
紫波町	ペットボトルキャップ回収	ペットボトルキャップを回収し、町内授産施設と連携し、リサイクル製品の作成。また、ペットボトルキャップ回収量に応じて、小学校へ補助金を交付	580kg回収
紫波町	小型家電回収事業	町内のスーパー4店舗にて回収ボックスによる回収	973kg
矢巾町	矢巾町ごみ減量推進員会議	地域のごみ減量推進員を対象に3R運動の推進説明	令和4年5月30日に開催
矢巾町	矢巾町ごみ分別青空教室開催	町内41地区に3R運動の推進説明	町内8地区で開催し、237人が参加
矢巾町	環境学習開催	町内小中学校で環境に関する講義を開催	町内小学校3校で開催
矢巾町	集団資源回収	回収量に応じて補助金の交付	総回収量380,404kg、総補助金交付額1,418千円
矢巾町	3010運動の推進	町内飲食店に3010運動への協力要請、広報、やはラジで周知活動実施	町内飲食店に3010運動への協力要請、広報、やはラジで周知活動実施
矢巾町	小型家電ボックス回収	町内5箇所に小型家電回収ボックスの設置 盛岡・紫波地区環境施設組合でピックアップ回収	町内5箇所に小型家電回収ボックスを設置し、総回収量810kg 盛岡・紫波地区環境施設組合でピックアップ回収を実施し、総回収量3,090kg
矢巾町	生ごみの減量	生ごみ処理容器・処理機の購入費に補助金を交付	補助金申請19件、総補助金交付額260千円
矢巾町	古着・古布の拠点回収	庁舎等2箇所に回収用ボックスを設置	古着総回収量4,729kg、古布総回収量1,110kg
矢巾町	割りばしの拠点回収	庁舎等2箇所に回収用ボックスを設置	総回収量 58kg
矢巾町	廃食用油の拠点回収	担当課窓口にて回収	総回収量 550kg
矢巾町	キッチンスポンジの拠点回収	担当課窓口にて回収	総回収量 4.5kg
矢巾町	歯ブラシの拠点回収	担当課窓口及び町内協力歯医者にて回収	総回収量 約3,100本
矢巾町	福祉施設と連携した資源循環の推進	町内の一部地域でごみ集積所に搬入された資源ごみを福祉施設で詳細に分別のうえ資源回収事業者へ引渡し	総回収量 4,200kg
矢巾町	リユース品回収市の実施	6～10月にかけて町内3か所でリユース品を回収する催しを実施	10日間で240組来場
矢巾町	リサイクルモアによる資源ごみの回収	リサイクルモアの利用促進によりごみの減量化を図る	総回収量 約320 t
矢巾町	コンタクトケース回収ボックスの設置	町内6か所に使い捨てコンタクトレンズ空ケースを設置し、回収する	総回収量 約34,500個
矢巾町	小型家電宅配回収の実施	小型家電の宅配回収を開始する	総回収量 約500kg
滝沢・雫石環境組合	集団資源回収事業（滝沢市）	子ども会、自治会などの団体が資源回収した量に応じて、奨励金を交付する。	子ども会、自治会などの団体が資源回収した量に応じて、奨励金を交付した。
滝沢・雫石環境組合	施設見学	施設見学を受け入れ、ごみ減量の啓発を図る。	施設見学を受け入れ、ごみ減量の啓発を行った。



市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
岩手・玉山環 境組合	施設見学対応	施設見学を受け入れ、施設概要等説明し3R啓発を行う （コロナウイルス感染症の状況次第）	コロナウイルス感染症の影響により施設見学は中止
盛岡・紫波一 部事務組合	施設視察・見学 の対応	施設見学を受け入れ、ごみ減量の啓発を図る。	新型コロナウイルス感染症予防のため、施設見学時間を 短縮したが、施設見学を行い、減量の啓発ができた。
花巻市	フリーマーケット の開催支援	フリーマーケットの開催支援（年2回）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回のみ実施。
花巻市	使用済み小型家 電リサイクル事 業の実施	家庭用小型電子機器の集積所及び窓口での回収を継続	集積所及び窓口での回収した家庭用小型電子機器の資源 化を実施
花巻市	資源集団回収の 奨励	資源集団回収団体への奨励金交付を継続し、資源回収の 取り組みを促す。	資源集団回収団体への奨励金交付し、資源回収の取り組 みを促した
花巻市	廃食用油の回収	廃食用油の集積所回収を継続	回収した廃食用油の資源化を実施
花巻市	衣類の回収	衣類の集積所回収を継続	回収した衣類の資源化を実施
花巻市	生ごみの回収	生ごみ回収（一部地域）を継続	回収した生ごみの資源化を実施
花巻市	食品ロス削減啓 発活動	市内旅館ホテル、飲食店との連携啓発活動及び家庭での 食品ロス削減にかかる啓発を継続	市内旅館ホテル、飲食店との連携啓発活動及び家庭での 食品ロス削減にかかる啓発を実施
花巻市	出前講座	市民を対象としたごみの分別説明会の実施を継続	市民を対象としたごみの分別・削減等についての説明会 を実施
花巻市	出前授業	小学4年生を対象としたごみ減量・リサイクルに係る出 前授業の実施	小学4年生を対象としたごみ減量・リサイクルに係る出 前授業を実施
北上市	拠点回収	ごみの減量化及び資源化を図るため、小型家電等の拠点 回収を行うもの。	拠点回収を計3回実施し、小型家電類1,186kgを回収し た。
北上市	生ごみ処理機購 入費助成	生ごみの減量化及びリサイクルを推進するため、生ごみ 処理機の購入者に対し助成を行うもの。	購入者に対し、11件助成を行った。
北上市	出前講座	3Rの意識の向上を図るため、講座を実施するもの。	出前講座を2回実施した。
北上市	集団資源回収	ごみの減量化及びリサイクルを促進するため、市内の団 体が実施した資源回収について補助金を交付するもの。	137団体に対し、合計10,485,000円の補助金を交付し た。（総回収量426,359kg）
北上市	ごみアプリ	ごみアプリによる充実した情報の発信により、ごみの分 別や3Rの意識の向上を図るもの。	ごみアプリによる充実した情報の発信を行った。（令和 4年3月時点6,464人登録）
北上市	食品ロスの削減	市内飲食店及び家庭に対し食品ロスについて啓発事業等 を実施するもの。	食品ロス削減の意識啓発を図るため、広報・ホームペ ージ・FMラジオ等で周知を行った。
北上市	クリーン活動	環境美化活動の一環として、北上市公衆衛生組合連合会 を主体にクリーン活動を行うもの。	9月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症 拡大防止の観点から開催中止となった。
遠野市	ごみダイエット 事業	「もえるごみ減量強化月間」における分別強化キャン ペーンの実施、ごみ減量スローガン看板の設置、環境学 習会（出前講座）によるごみ分別方法の普及、啓発CM の製作と放送を行う。	環境学習会の開催、キエーロの市民モニター、広報・ ケーブルテレビによる啓発を実施した。
遠野市	ごみ減量化物品 あっせん助成	紙ひも、生ごみ処理機、生ごみ処理容器、生ごみ酵素 等の購入費用の一部を助成する。	紙ひも、生ごみ処理機等の購入費用の一部を助成した。
遠野市	資源集団回収	自治会、PTA等により資源集団回収し、買取業者へ の売払い量に応じて奨励金を交付する	自治会、PTA等により資源集団回収し、買取業者へ の売払い量に応じて奨励金を交付した。
遠野市	資源ごみ分別	プラスチック製容器包装、紙ごみ等の資源ごみの分別 収集、回収ボックスの設置による小型家電等の回収を行 う。	プラスチック製容器包装、紙ごみ等の資源ごみの分別 収集、回収ボックスの設置による小型家電等の回収を実 施した。
西和賀町	出前講座の実施	町民を対象としたごみの正しい分け方・出し方を主と した出前講座「ごみの減量について」を、西和賀町公衆 衛生組合連合会と合同で開催する。	コロナ禍の対応のため、出前講座要望がなかったが、 町国際交流団体から、町内在住外国人向けのごみ分別説 明会の要請があり、実施した。
西和賀町	資源集団回収	PTAや子ども会等で行う集団回収について、回収し た品目の回収量に応じて奨励金を交付する。	子ども会等7団体の回収事業に対し、奨励金の交付を 行った。

市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
岩手中部広域 行政組合	施設見学等の受 入れ	・施設見学及び視察を受入れた際に、ごみ減量化の取組について普及啓発する。 ・ごみ減量化PRポスターを掲示する。	・施設見学及び視察を受入れた際に、ごみ減量化の取組について普及啓発した。 ・ごみ減量化PRポスターを掲示した。
一関市	有価物集団回収	資源リサイクル事業を促進するため有価物の集団回収を実施した団体に対し報償金を交付。（対象品目：金属類、古紙類、ビン類、ペットボトル）	資源リサイクル事業を促進するため有価物の集団回収を実施した団体に対し報償金を交付。（対象品目：金属類、古紙類、ビン類、ペットボトル）
一関市	生ごみ処理機購 入補助	生ごみの減量を図るため、生ごみ処理機の購入に対し補助金（購入金額の1/2）を交付。 ・電動生ごみ処理機／1基当たり30,000円 ・手動式生ごみ処理機／1基当たり10,000円 ・コンポスト化容器A／1基当たり 3,000円 ・コンポスト化容器B／1基当たり 2,000円	生ごみの減量を図るため、生ごみ処理機の購入に対し補助金（購入金額の1/2）を交付。 ・電動生ごみ処理機／1基当たり30,000円 ・手動式生ごみ処理機／1基当たり10,000円 ・コンポスト化容器A／1基当たり 3,000円 ・コンポスト化容器B／1基当たり 2,000円
一関市	使用済小型家電 回収	使用済小型家電の回収イベントを実施。	使用済小型家電の回収イベントを実施。
一関市	古着回収	古着の回収イベントを実施。	古着の回収イベントを実施。
一関市	食品ロス削減	食品ロス削減に向けた啓発活動を実施。	食品ロス削減に向けた啓発活動を実施。
一関市	3R等の啓発	廃棄物の減量化・資源化を図るため啓発活動を実施。	廃棄物の減量化・資源化を図るため啓発活動を実施。
奥州市	ごみ・リサイク ル出前講座の開 催	ごみ・資源物の正しい分別を広め、リサイクルの向上、ごみの削減等3Rの推進を図る。	22回開催
奥州市	資源物集団回収 事業報奨金の交 付	資源ごみの減量化と資源の再利用を促進するため、資源物の回収に協力した市内の団体に対し、報奨金を交付する。	78団体 交付金額831,846円
奥州市	生ごみの減量	生ごみ処理機器購入者へ補助金を交付する。	補助金交付件数 31件 交付金額268,340円
奥州市	小型家電リサイ クル事業	小型家電リサイクルをボックス回収にて実施する。	回収量1471.25kg
奥州市	食品ロス削減	食品ロス削減のための普及啓発を行う。	市HPや市広報（10月発行）に食品ロス削減について掲載するとともに、10月にフードドライブポストを5日間設置した。また、3月からフードドライブポストを常時設置し、受付体制を確立した。
金ケ崎町	古着回収事業	古着回収を実施する	古着回収を年2回（6月、10月）実施した。
金ケ崎町	ごみとリサイク ル学習会	出前講座及び地区説明会、町内幼稚園においてリサイクル教室を実施する。	出前講座及び地区説明会、町内幼稚園においてリサイクル教室を実施した。
金ケ崎町	小型家電リサイ クル回収事業	町内7か所に回収ボックスを設置するほか、宅配便を活用した回収方法を周知し、リサイクルを推進する。	町内7か所に回収ボックスを設置したほか、宅配便を活用した回収方法を周知し、小型家電リサイクルを推進した。
金ケ崎町	広報誌等による 周知	広報、HP、リサイクルカレンダー等で、ごみの減量及び資源化の周知啓発を行う。	広報、HP、リサイクルカレンダー等で、ごみの減量及び資源化の周知啓発を行った。
平泉町	3R啓発運動	町の芸術文化祭のエコネット平泉コーナー及びひらいずみ地球温暖化対策協議会会報誌にて3Rの普及啓発を実施した	町の芸術文化祭のエコネット平泉コーナー及びひらいずみ地球温暖化対策協議会会報誌にて3Rの普及啓発を実施した
平泉町	有価物集団回収 事業助成金	有価物の集団回収事業を実施した団体に対し助成金を交付し、ごみ排出量削減及び資源化率向上を推進した	有価物の集団回収事業を実施した団体に対し助成金を交付し、ごみ排出量削減及び資源化率向上を推進した
平泉町	ごみの分別講習 会	行政区等で実施される行事等へ「ごみ分別講習会」テキストを提供し、ごみの分別への意識啓発を促した	行政区等で実施される行事等へ「ごみ分別講習会」テキストを提供し、ごみの分別への意識啓発を促した
平泉町	ごみの排出抑制	広報等において、ごみ分別の情報提供を行った	広報等において、ごみ分別の情報提供を行った

市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
一関地区広域 行政組合	使用済み小型家電リサイクル回収事業	・一関市・平泉町の公共施設に回収ボックスを設置し回収を行う。 ・清掃センターへ持ち込まれた廃棄物からピックアップ回収を行う。	一関市・平泉町の公共施設（48ヵ所）に回収ボックスを設置し回収を行った。 また、清掃センターへ持ち込まれた廃棄物からピックアップ回収を行った。
一関地区広域 行政組合	施設見学	管内の小学校等の施設見学を受入れ、ごみ処理工程の見学、ごみの分別とごみの排出から処理までの現状を説明し、ごみの減量の啓発と3Rの普及啓発を図った。	管内の小学校等の施設見学を受入れ、ごみ処理工程の見学、ごみの分別とごみの排出から処理までの現状を説明し、ごみの減量の啓発と3Rの普及啓発を図った（31件／参加者958名）。
一関地区広域 行政組合	再生品の提供	清掃センターに持込みされた廃棄物の中から、再生・再利用可能な家具などを選別し、清掃・修理したものを展示・販売することで、リサイクルの促進と廃棄物の減量について意識啓発を図る。	清掃センターに持込みされた廃棄物の中から、再生・再利用可能な家具などを選別し、清掃・修理したものを展示・販売することで、リサイクルの推進と廃棄物の減量及び3Rの推進について意識啓発を図った（5回開催（申込件数3,977件・売却件数651件））。
一関地区広域 行政組合	リサイクル工芸教室	リサイクル品を活用した工芸教室を体験することで、リサイクルの促進と廃棄物の減量について意識啓発を図る。	・リサイクル工芸教室での体験を通し、3Rの推進について意識啓発を図った（65回開催／参加者438名）。 ・小学生の夏休みに合わせ「夏休み親子リサイクル工作教室」を開催した（5回開催／参加親子24組（57名））。
一関地区広域 行政組合	ごみアプリ	ごみ分別アプリによる充実した情報の発信により、ごみの分別や3Rの意識の向上を図る。	ごみ分別アプリによる充実した情報の発信により、ごみの分別や3Rの意識の向上を図った（令和5年3月末登録者数11,873人）。
奥州金ヶ崎行 政事務組合	施設見学	施設見学の際にごみ搬入の現状を理解してもらうとともに3Rの意識啓発を図る。	①新型コロナウイルス感染症対策のため、小学生の施設見学は全てバスの中からの見学とし、職員がバスに乗り込んで説明をした。（小学校の施設見学＝4校） ②一般の施設見学は3団体、42名の参加であった。
奥州金ヶ崎行 政事務組合	ホームページの活用	組合ホームページにより3Rの意識啓発を図る。	ホームページにごみの分別辞典を掲載し、ごみの適正分別の周知を行った。また、当該辞典では、一部のごみには分別種類他にリサイクルできるごみかどうか掲載し、より3Rの啓発になるよう考慮した。
宮古市	広報周知活動	広報により、ごみの排出抑制、分別方法などを周知する。 また、転入者には、転入手続き時にごみ分別辞典を配布する。	6月1日号広報の特集ページにより、ごみの減量化、分別方法を周知した。 また、転入者には、転入手続き時にごみ分別辞典を配布した。
宮古市	生ごみの減量	生ごみ処理容器の購入費の一部を補助し、生ごみの排出抑制を図る。	電動生ごみ処理機購入者に補助を行った。
宮古市	資源集団回収への補助	資源物を回収した団体に奨励金を交付し、資源の有効活用と、ごみ減量の意識啓発を図る。	登録団体に資源物の収集量に応じて奨励金を交付した。
宮古市	ごみ収集カレンダーの配布	市内各行政区単位に収集カレンダーを作成し、全戸に配布する。	市内各行政区単位に収集カレンダーを作成し、全戸に配布した。
宮古市	小型家電リサイクル	市内12か所（市役所本庁舎、出張所等）に回収ボックスを設置し、使用済み小型家電を回収する。	市内12か所（市役所本庁舎、出張所等）に回収ボックスを設置し、使用済み小型家電を回収した。



市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
山田町	小型家電 リサイクル事業	町内公共施設6か所に回収ボックスを設置し、使用済小型家電の回収を行う。	町内公共施設6か所に回収ボックスを設置し、使用済小型家電の回収を実施。
山田町	啓発活動	チラシ・ポスターの掲示による啓発活動を行う。	チラシ・ポスターの掲示による啓発活動を実施。
山田町	リサイクル 資源回収事業 報奨金の交付	資源ごみの再生利用とごみ減量化を促進するため、リサイクル資源の回収を行った登録団体に対し、報奨金を交付する。	資源ごみの再生利用とごみ減量化を促進するため、リサイクル資源の回収を行った登録団体に対し、報奨金交付を実施。
岩泉町	3Rの促進	リサイクル推進員が町民に個別訪問し分別方法等への指導を行い、資源ごみリサイクルへの意識向上を図る。	リサイクル推進員が町民に戸別訪問し分別方法等への指導を行い、資源ごみリサイクルへの意識向上を図った。
岩泉町	資源ごみ集団回収事業	資源ごみの再利用促進のため、町内の町内会等団体が買収した資源ごみに対して補助金を交付する。	実施団体：24団体 延べ回数：147回 交付金額：1,895,145円
田野畑村	資源ごみ集団回収事業奨励金の交付	資源の再使用及び再生利用を促進するとともに、ごみ減量化を図ることを目的として、資源ごみの集団回収を行った団体に対し奨励金を交付した。	資源の再使用及び再生利用を促進するとともに、ごみ減量化を図ることを目的として、資源ごみの集団回収を行った団体に対し奨励金を交付した。
宮古地区広域 行政事務組合	施設見学	①小学校…施設見学対応・施設紹介DVD貸出 ②一般…参加者15人程度への対応	①小学校…施設見学を実施（見学は人数制限のうえ実施、施設紹介DVD貸出は申込なし） ②一般…施設見学の申込なし
宮古地区広域 行政事務組合	出前講座	小学校や各種団体に出向き、施設概要の説明、4Rの推進を図る。	自治会2団体に対して出前講座を実施
宮古地区広域 行政事務組合	ポスターコンクール	4R推進、環境保護推進ポスターコンクールの開催（小学生向け、表彰式は状況による）	4R推進、環境保護推進ポスターコンクールを開催（小学生向け、表彰式は12月に開催）
宮古地区広域 行政事務組合	再生品展示会	5月、10月開催予定（再生家具類の提供、来場者記名、入場制限等実施）	5月、10月に開催（再生家具類の提供、来場者記名、入場制限等実施）
宮古地区広域 行政事務組合	フリーマーケット	開催予定（開催日は調整中）	7月～9月に毎月1回開催（来場者記名、入場制限等実施）
大船渡市	エコライフ推進事業	令和2年度に引き続き、小中学校など子供を対象とした事業として実施する。	地域団体に対し、ごみの削減とリサイクルについての講座を行った。
大船渡市	再利用ごみ分別収集事業	家庭から排出されるプラスチック類などを「再利用ごみ」として分別・収集し、これらを資源として再利用する。	家庭から排出されるプラスチック類などを「再利用ごみ」として分別・収集し、これらを資源として再利用した。再利用ごみの年間収集量は208,500kgとなった。
大船渡市	清掃美化運動推進事業	市公衆衛生組合連合会を通じて電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器、EMバケツなどの購入補助金を交付する。	市公衆衛生組合連合会を通じて電動生ごみ処理機を購入補助金を2件交付した。
大船渡市	その他		10月の3R推進月間、食品ロス削減月間に併せ、広報誌への記事掲載及び3R推進・食品ロス削減等環境図書展を開催し、普及啓発を行った。
陸前高田市	資源集団回収事業	資源ごみを回収した団体に対して奨励金を交付する。	申請のあった市内14団体において、総額180,243円（総重量約36,048kg）の奨励金を交付した。
陸前高田市	生ごみ減量化対策	生ごみ処理容器（コンポスト等）の購入費に対して補助金を交付する。	生ごみ処理機（電動）の購入補助金を15件交付した。
陸前高田市	出前講座の実施	ごみの減量化やリサイクルを推進するための講座を実施する。	-
陸前高田市	小型家電の回収	市庁舎及び清掃センターに使用済み小型家電の回収ボックスを設置し、小型家電のリサイクルを進める。	使用済小型家電を5,772kg回収した。
釜石市	「釜石自然・生活環境展」の開催	市内の自然環境保護活動およびごみ減量・リサイクルの取組みの啓発パネルを展示し、自然保護に対する理解と3Rの推進、意識の高揚を図る。	6月の「環境月間」に合わせた取組みとして開催 開催日：令和4年6月10日～12日 開催場所：釜石市民ホールTETTO ギャラリーなど 開催内容：パネル展示等 来場者数：212人
釜石市	ごみ座談会の開催	ごみ処理の現状や排出方法、当市のごみ減量施策などを周知し、ごみ減量を推進する。	【講座等の実施 R4/8回、134人】 出前講座等 8回 134人
釜石市	資源物回収事業推進奨励金	市内におけるごみ減量・リサイクルを推進するために、地域のリサイクル活動に対し奨励金を交付する。	R4 資源物回収量/125.6t 団体数17団体/交付額219千円

市町村 一部事務組合 広域連合	取組項目	取組計画（令和4年度）	取組結果
釜石市	広報を活用した ごみ減量・リサイ クルの推進	ごみの分別・減量方法をわかりやすく説明・周知し、ご み減量・リサイクルを推進する。	広報かまいし記事掲載 1回 ・4/15 ゴールデンウィーク中のごみの収集 ごみカレンダー配布
釜石市	PETボトルの拠点 回収	市内8か所の生活応援センターに回収ボックスを設置 し、PETボトルのリサイクルを推進する。	R4 拠点回収量 5.3 t
釜石市	食品ロス削減の 啓発	ごみ座談会等で周知し、食品ロス削減の啓発を図る。	R4 ごみ減量講座等での周知
住田町	生ごみの減量へ の取組み	生ごみ処理容器及び電動生ごみ処理機の購入費の補助	生ごみ処理容器の購入補助 ・生ごみ処理容器／6基 ・処理発酵資材／62セット ・生ごみ密封発酵容器／9個 ・処理発酵資材／26セット
住田町	使用済み小型家 電リサイクルへ の取組み	町内2か所の回収ボックスで使用済み小型家電の回収	約 150.5 kgを回収
住田町	使用済み天ぷら 油の回収への取 組み	BDF燃料としての再利用啓発のため、産業まつり会場 で使用済み天ぷら油の回収	約 30.4 ℓを回収
大槌町	啓発活動	町広報誌による3R活動	町広報誌による3R活動
大槌町	生ごみ処理容器 等購入設置補助 金	生ごみ処理機等購入の一部補助により生ごみの減量を図 る。	2件の申請があった。 今後も広報誌を通じて補助金について周知する。
大槌町	資源ごみ回収報 奨金	資源ごみ回収事業に協力した団体に対し報奨金を交付す る。	1団体に報奨金を交付
岩手沿岸南部 広域環境組合	施設視察・見学 の対応	・施設の視察、見学を受入れ、施設の概要及び循環型社 会の必要性についての啓発を図る。	・施設の視察、見学を受入れ、施設の概要及び循環型社 会の必要性についての啓発を図った。 (視察4件 11人、見学19件 503人)
大船渡地区 環境衛生組合	集団資源回収 事業奨励金の 交付	資源の有効活用及びごみの減量化に資することを目的 に、資源ごみの集団回収を行った団体に対し、奨励 金を交付する。	実施団体：66団体 交付金額：735,001円